



# ヘルスケアスタートアップ等の振興・支援策検討プロジェクトチーム

中間提言の方向性 (案) 2024年4月8日



# ヘルスケアスタートアップ等の振興・支援策検討プロジェクトチーム 中間提言の方向性（案）

本中間提言においては、ヘルスケアスタートアップ（ヘルスケアSU）の振興・支援のための基本的方向性及び早期に実施すべき主要な施策をとりまとめた。

- 1. 現状：日本は、世界に先んじてヘルスケア領域のイノベーションを生み出す潜在能力があるものの、ヘルスケアSUの活躍が限定的**
  - 日本は超高齢化による課題先進国となっており、世界に先んじたヘルスケア領域における課題解決とイノベーションが不可欠である
  - 日本ではヘルスケア領域の研究は非常に注力されており、独自の強み（皆保険下のデータ集積のしやすさ等）も含め、日本の潜在力は高い
  - しかし、現状ヘルスケアSUの数や成功例が限定的であり、ヘルスケアSUを育む仕組みの不足や課題の解決が急務である
- 2. 目標：ヘルスケアSUの振興を通じ、日本のヘルスケア水準の向上とヘルスケアSUのグローバル市場での活躍の両方を目指す**
  - 国民生活に不可欠なヘルスケア（医療・健康・介護）の質の向上を図り、かつ持続可能なものにする
  - 日本発の新たなサービス・製品の海外市場展開を促進し、グローバルな競争力を有する成長産業にする
- 3. 戦略：各ヘルスケア市場の特性を見極め、最適な振興・支援アプローチを選択**
  - ① 世界直行アプローチ：国内市場と世界市場が構造的に近接。ヘルスケアSUが初期から世界市場を視野に展開するための戦略を構想し、遂行するための支援・環境整備に注力するアプローチ
  - ② 段階的海外進出アプローチ：国内市場と世界市場の規制環境などに差異。まずは国内で先駆的な製品・サービスの展開を支援した上で、段階的に海外進出の可能性を模索するアプローチ
  - ③ 国内充実アプローチ：ヘルスケアSUが国内市場で持続的に製品・サービスを提供できるための支援・環境整備を行うアプローチ
- 4. 具体策：ヘルスケア主要分野ごとの問題意識と（中間）提言**
  - 主要分野は、総論、バイオ/再生、医療機器/ SaMD、医療DX/AI、介護テックの5つ

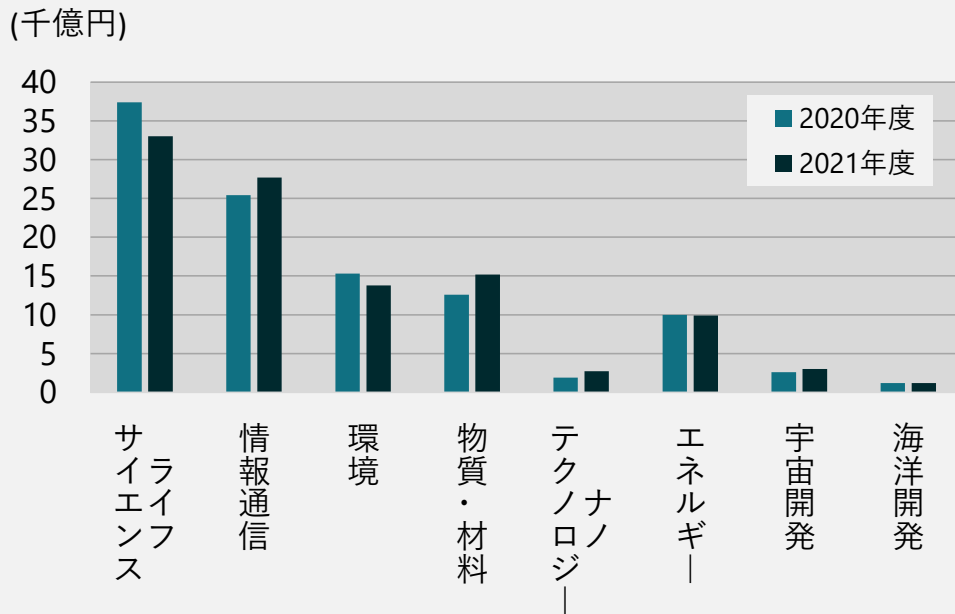


## なぜヘルスケア×スタートアップが 重要なのか？

# ヘルスケア産業は多くの研究開発が行われており、日本のポテンシャルが高い領域の1つと見込まれている

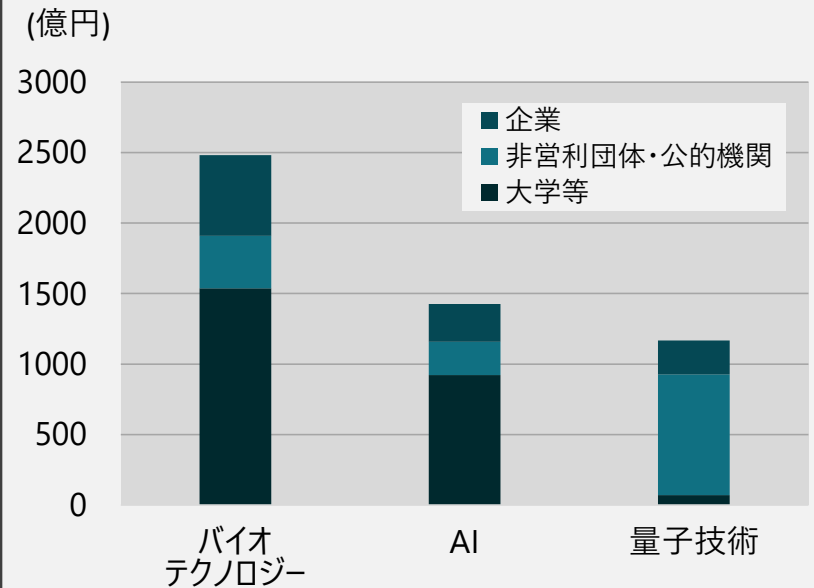
## 特定目的別研究費

8分野比較



ライフサイエンスへの研究投資は情報通信や環境、宇宙開発以上に行われている

研究主体別、3分野比較



先端技術への研究投資ではバイオテクノロジーはAI等以上に行われている

# 2019年以降、ユニコーン企業は存在せず、100億円以上のM&Aは3件

ユニコーン企業および大型M&A実績：タスクフォース関連領域

## ユニコーン企業数 \*1

0 社

※ヘルスケア領域全体でも2021年・2022年の  
HIROTSUバイオサイエンスの1社に留まる

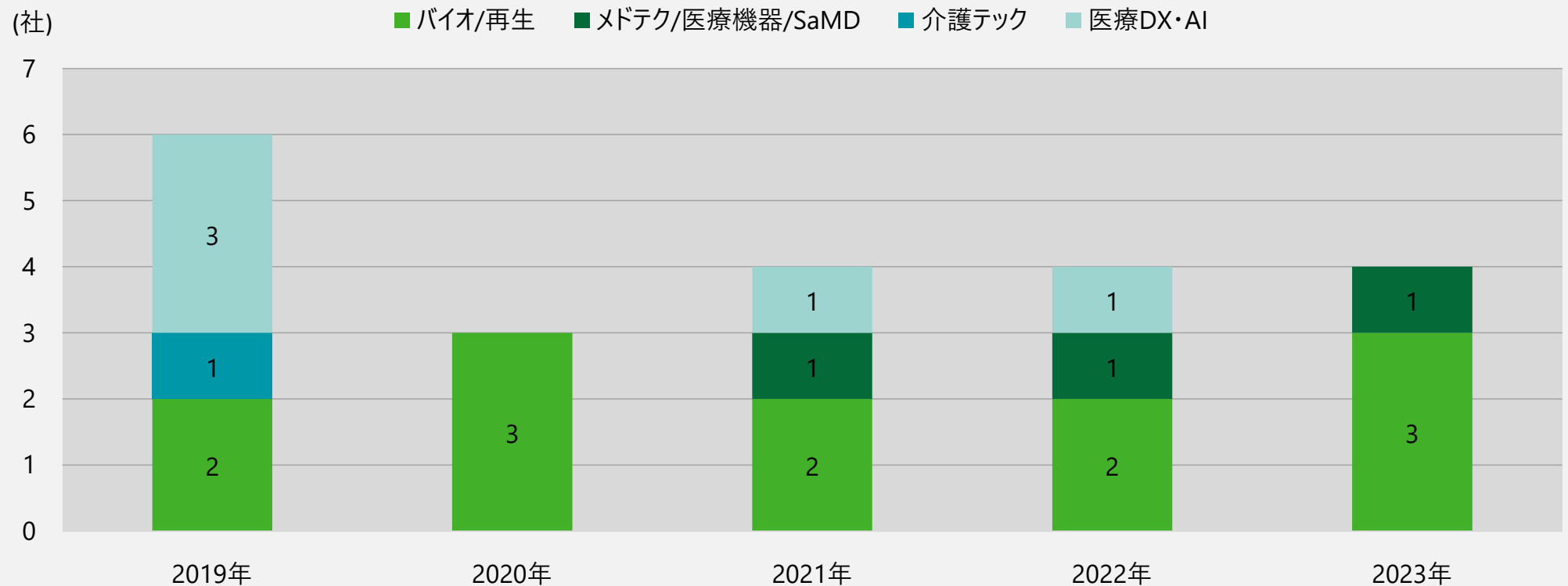
## 大型M&A（買収額100億円以上）実績 \*1

| M&A<br>実施年 | TF分類    | 売却側            | 買収側             | 買収額    |
|------------|---------|----------------|-----------------|--------|
| 2023       | 医療DX・AI | がんサー<br>スキャン   | JMDC            | 約142億円 |
| 2023       | バイオ・再生  | オリシロ<br>ジェノミクス | Moderna<br>(米国) | 約108億円 |
| 2022       | 医療DX・AI | アルム            | DeNA            | 約292億円 |

※金額非公開の案件も多いため、これ以外にも存在する可能性あり  
※同期間において、買収額が100億円未満または非公開を合わせ36件

# 毎年約100社が国内IPO、しかしヘルスケア領域はその5%程度に留まる

年度別IPO数：タスクフォース関連領域



出典：株探 (<https://kabutan.jp/>) の各年IPO情報を基に、各社HP・事業概要を踏まえて作成  
脚注：各領域について、ゼロ社の場合は積上げグラフより除外



## 本プロジェクトチームが目指す ヘルスケアSU振興・支援の目標

---

目標：ヘルスケアスタートアップの振興・支援を通じ、

国民生活に不可欠なヘルスケア（医療健康介護）の  
質の向上を図り、かつ持続可能にする

日本発の新たなサービス・製品の海外市場展開を促進し、  
グローバルな競争力を有する成長産業にする



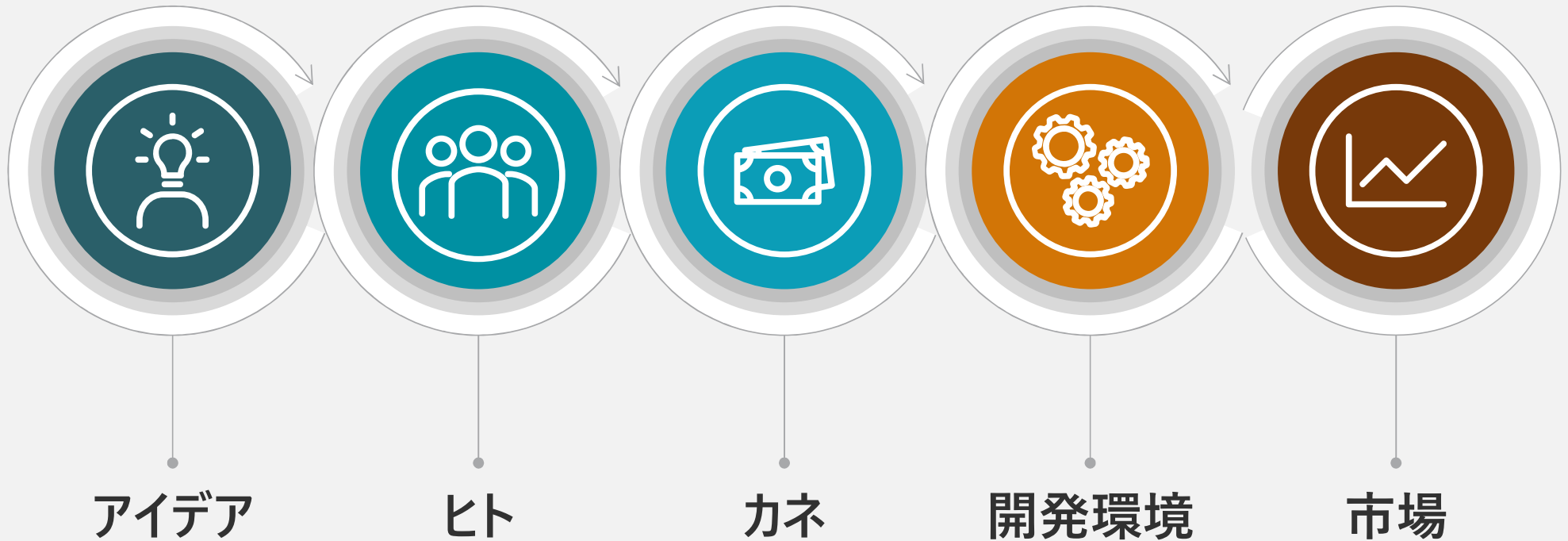


## 市場特性に応じた3つの 戦略的支援アプローチ



これまでは、スタートアップの成功を左右する5つの要素に対して幅広い支援を提供し、世界と伍するスタートアップの育成に取り組んできた

スタートアップが成功する5要素



# しかし今後は、ヘルスケア市場の動向を見極め、そこにはより手厚く国力を投資していかなくてはならない

## 国力の投資に向けたアプローチの整理

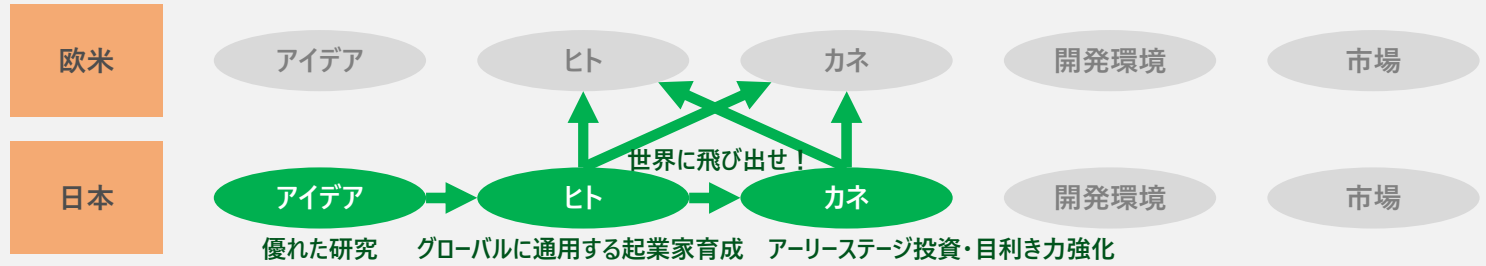
色有り : 各アプローチにおいて、より手厚く国力を投資すべき要素

色無し : これまでの支援を継続するべき要素

### アプローチ①：世界直行

国内市場と世界市場が構造的に近接。  
ヘルスケアSUも初期から世界市場を視野に展開するための戦略を構想し、遂行するために支援

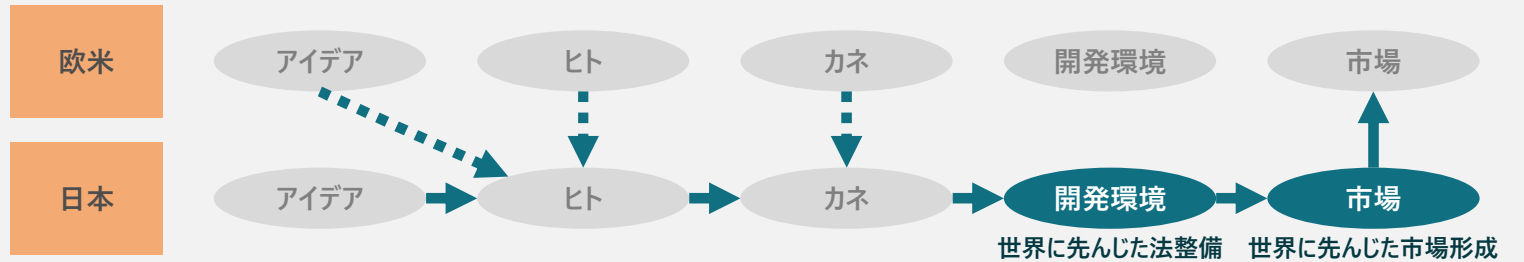
- ・ 伝統的バイオ
- ・ 伝統的医療機器



### アプローチ②：段階的海外進出

国内市場と世界市場の規制環境などに差異。  
まずは国内で先駆的な製品・サービスの展開を支援した上で、段階的に海外進出の可能性を模索

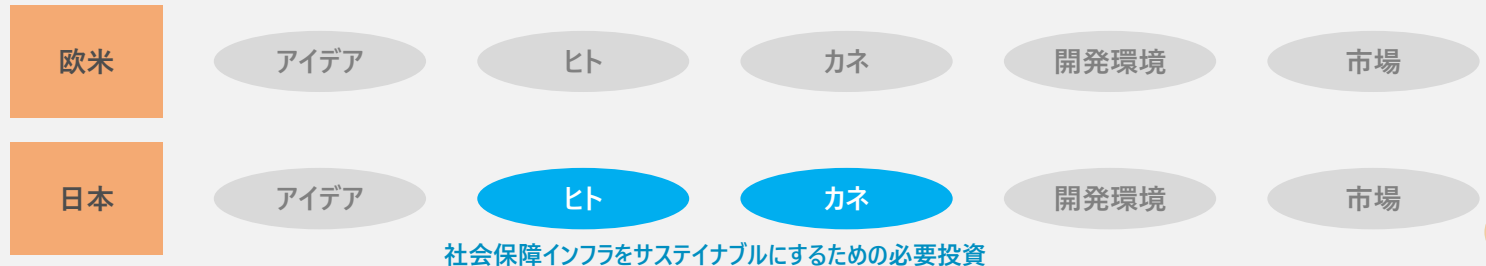
- ・ 最先端バイオ
- ・ 最先端医療機器、SaMD
- ・ 医療DX・AI
- ・ 介護テック



### アプローチ③：国内充実

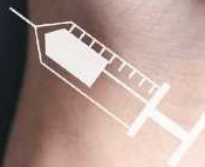
ヘルスケアSUが国内市場で持続的に製品・サービスを提供できるために支援・環境整備

- ・ 介護テック





# ヘルスケア主要分野ごとの 問題意識と（中間）提言



検討中